

2年()組()番 名前: 教科書p48~52 月 日

2年歴史 EX01

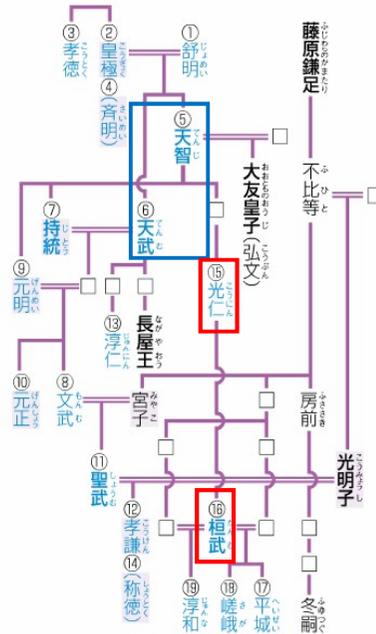
第二章 古代までの日本
平安時代はどのような政治が行われたのか？(模範解答編)



1) 家系図の読み取り ※深谷市教育委員会「系図の読み取り方を身につけよう」を見よう！



私は16代天皇の桓武天皇です。平安時代の初期に活躍しました。実は私は6代~14代の天皇とある違いがあります。右の家系図を読み取ると分かるのですが、分かりますか？
ヒントは【ある天皇との関係】です。



(家系図を読み取ってみよう)
6代~14代までの天皇と、15代光仁天皇・16代桓武天皇は家系図でみると、何が違うか。※「壬申の乱」の人物関係を思い出してみよう。

(答え)
家系図を読み取ると、6代~14代天皇は(① 天武)天皇と関りが深く、光仁天皇と桓武天皇は(①)天皇と関係がない。

つまり、政治の仕方が変わる可能性がある！ どんな政治をしたのだろう？

2) 桓武天皇はどんな改革をしたのか？ ※教科書p48を見て、空欄を埋めよう

(1) 都の遷都...794年、長岡京から(② 平安京)に遷都する。(②)は現在の京都市に位置し、当時の中国である唐の都の作りをまねた。

(2) 新仏教の保護

宗派名	③ 天台宗	④ 真言宗
人物	⑤ 最澄	⑥ 空海
総本山	比叡山延暦寺	高野山金剛峯寺
内容	人には仏になれる性質があるのだから、どのような者でも修行すれば、仏になれる	修行をつめば、人は生きながらにして仏になれる(即身成仏)

(3) 領地拡大...朝廷は支配が及ばない東北地方の人々を(⑦ 蝦夷)と呼び、何度も攻め、支配を広げようとした。特に(⑧役職名:征夷大將軍)になった坂上田村麻呂の働きもあり、朝廷の勢力が拡大した。

3) 東アジアの変化と遣唐使の停止

・894年、(⑨人物:菅原道真)が遣唐使の停止を提案した。これは当時の中国である唐の勢力が衰え、遣唐使が往復する危険も高まったからである。

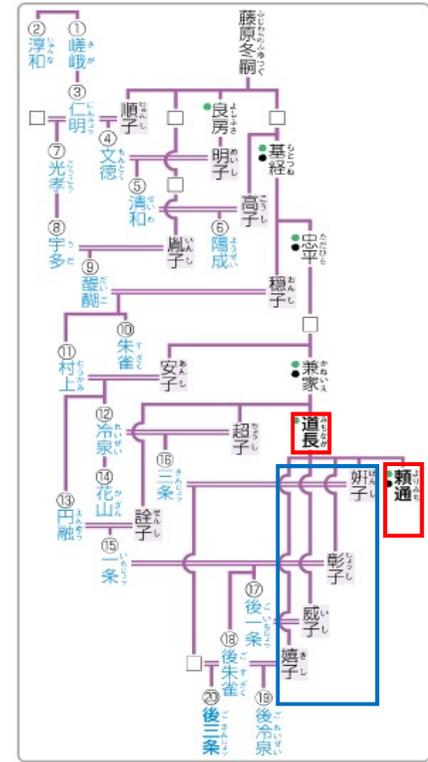


3) 摂関政治について ※教科書p50を見よう

資料A: 藤原氏と皇室との関係



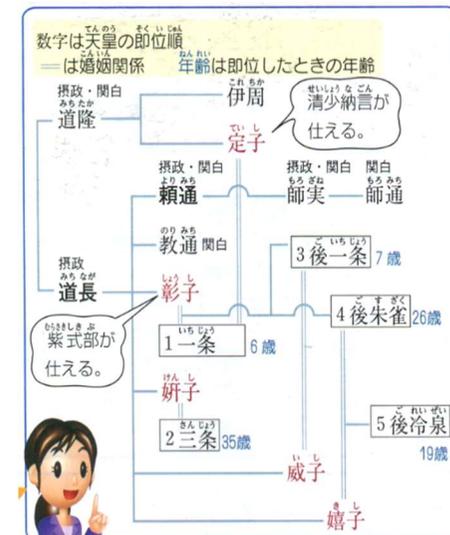
私は藤原氏の藤原道長です。貴族である我々はある方法を使って、朝廷での実権を握っていきました。11世紀ごろが我々の最盛期でしたA~Cの資料を参考に、どうやって実権を握っていったのか、説明してみましょう。
ヒントは【家系図の中の道長の娘、摂政・関白】です。



資料B: 藤原氏の成長

資料C: 藤原氏の系図

B 藤原氏の成長



※摂政とは...天皇が幼い時や女性の時に置かれる天皇の補佐役
関白とは...成人の天皇の補佐役

(自分の言葉でまとめよう)
Q、資料A~Cを参考に、藤原氏が実権をどのように握ったか、【婚姻、摂政・関白】という言葉を使って、簡単に説明してみよう。
(解答例)
藤原氏は自分の娘と天皇と婚姻を結ばせ、天皇の子に天皇の地位を譲らせた。また藤原氏はその子の摂政や関白になることで実権を握り、藤原氏の力を強めていった。

(まとめ)
Q、平安時代はどのような政治が行われたか。【律令政治の立て直し、東北地方の支配、摂関政治】という言葉を使って説明しよう。その際、平安時代の初期とそれ以降で、誰が活躍し、どのような政治をおこなったのかを明らかにして説明してみよう。
(解答例)
平安時代の初期は、桓武天皇が律令政治の立て直しとして、国司に対する監督を強化し、一般の人の兵役をやめるなどの律令の決まりを改めた。また東北地方の支配では、坂上田村麻呂を征夷大將軍に任命し、蝦夷を従わせた。平安時代中期以降は藤原氏が摂関政治を行い、天皇の補佐をする職について政治の実権を握っていった。